



2021年1月、「NEXT MEATS HOLDINGS」がSPAC特別買収目的会社) スキームを活用し米国の証券市場に上場した。同社は20年6月に法人化し、圧倒的なスピ

ードで国内外に事業を展開する、代替肉のフードテックスタートアップだ。創業7カ月で上場し、初日の時価総額が約4億5200万円(約583億円)となり、同社の株主を集めた。

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート(現リクルートホールディングス)入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

クストミーツは「地球を終り、バイオテクノロジーを掲げ、植物性焼き肉・牛丼・チキン・ポーク・ツナ等の商品を開発し、イオンをはじめとする大手スーパーや

フードテックの産業革命

ネット販売のOisixのほか、パレスホテルでもニューに採用されている。また有名シェフとのコラボによって代替肉ならでのレシピを開発すること

「環境問題や食糧危機に対応する代替肉」に着目した。しかし、バックグラウンドがない2人の商品開発は困難を極めた。代替肉として本物の肉にはない商品価値を創るため、食感やおいしさを追求し、素材、熱圧力など様々な点を改良し、数えきれない試食を

市場規模は30年には世界で20兆円を超え

重ねた。障壁にぶち当たるたびに、「何をどうしたらいいか教えてほしい」と、協力を求めて大学や食品メーカーの研究室に通い続けた。最大の難問は、食べたときの食感「口当たり、舌触り、歯ごたえ」だった。12年前に中国の深圳で出会った2人は「環境問題に對峙するビジネスを目指す」の歳月をかけて納得のいく代替肉を実現した。